

## 連合体輸送

加盟率は59%

平成6年度関東・東海・近畿  
三地区公立中修旅連の  
実施報告から

各学校の修学旅行実施計画  
の基礎資料とするほか、連  
合体輸送計画策定の資料、  
費等の国庫補助金増額陳情  
取りまとめた。

この報告書は、修学旅行  
実施報告書を

財団法人全国修学旅行研  
究協会と、関東・東海・近  
畿三地区公立中学校修学旅  
行連合委員会は、平成6年  
度の修学旅行実施報告書を  
作成の参考資料提供等を目  
的で、毎年作成しているも  
のである。

一、連合体加盟状況  
平成6年度の実施状況の  
概要是次のとおりである。  
三地区的公立中学校の總  
数は三千三百九十六校、連  
合体加盟校数は二千三校で  
加盟率は59.0%となり、  
前年より1.1%低下し

十二年にわたる臨時教育審  
議会の答申が、我が国の教  
育は生涯学習体系へ移行を  
しなければならないと提唱  
したことによって、生涯教  
育は生涯学習体系の実現によ  
り、これが生涯教育として定着する  
ようになった。

生涯学習と生涯教育と  
がこれからの日本の教育

の基礎理念として定着する  
ようになつた。

生涯学習と生涯教育と  
は何であるか、昭和五十六  
年の中教審の答申から言葉  
をひいてみたまつた。

「人が自己の充実・育成や生活の向上  
のために生涯を通じて行う  
学習」「各人が自発的意志に  
基づいて行うもので、必要  
に応じ自己に適した手段・  
方法を自ら選んで生涯に行つ

られる。生徒数の減少、学校の  
小規模化に伴う影響は避け  
られないが、今後とも連合  
体輸送への加盟促進の努力  
を続けていく必要がある。

二、実施時期

各地区とも五、六月に集  
中しているが、関東では四  
月実施校が19.5%、六月  
三、修学旅行不参加生徒数  
関東地区の不参加生徒数

は二千八十八人、不参加率

額になりつつあり、補助金  
年々減少の傾向にある。

「生涯学習」とか「生涯教育」  
など、これらが世界的に提唱さ  
れたのは、一九六五年ユネ  
スコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方が提唱され  
て、国際的な教育理念にな  
った。

我が国では、昭和五十年  
(一九七五) 第十一期の中  
央教育審議会が生涯学習に  
ついての答申を出した。し  
かし、昭和五十九年から六  
十二年にわたる臨時教育審  
議会の答申が、我が国の教  
育は生涯学習体系へ移行を  
しなければならないと提唱  
したことによって、生涯教  
育は生涯学習体系の実現によ  
り、これが生涯教育として定着する  
ようになった。

生涯学習と生涯教育が  
求められるようになつた背  
景について考えてみたい。  
成熟した社会になつてきた  
なかで、余暇を使うが、  
成人・大人の生活のなかで  
健康・趣味・スポーツに関  
して非常に幅広い学習活動  
が行われていた。

同時に国際化・情報化・  
科学技術の高度化に対する  
職業能力の開発として学習

理念にたつて転換しければ  
いけないという背景もあつ  
た。

（三）生涯学習のしくみと學  
校教育の役割  
人の一生の学習や教育の  
場や機関が年代に応じてば  
らばらにかわるのではないか  
ことが大切だと言われば、  
じめたのも生涯学習の基礎  
との一部分かも知れないが  
を培つといつて学校教育とい  
う考え方につてである。

そんなふうに学校教育の  
役割よりも転換が求められる  
ようになつてきた。

二、生涯学習のなかで修学  
旅行を通じてどんな資  
質を養うことができる

（三）主体性や自主性を培う  
の時期にお互いの機能を発  
揮し、総合的にかかわって  
いくような仕組みを作りあ

た。生徒数の減少、学校の  
小規模化に伴う影響は避け  
られないが、今後とも連合  
体輸送への加盟促進の努力  
を続けていく必要がある。

（四）修学旅行の費用（関東）  
平均額は五万三千八百七十円で、前年より一千七百円  
が増加した。国庫補助金単価  
は五万円で、差額は年々少

く、もう少し充実した人生  
を送るという意味で、自分を  
高めていくために行う学習  
でこの考え方があつた。

（五）生涯学習の理念  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（六）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（七）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（八）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（九）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十一）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十二）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十三）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十四）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十五）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十六）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十七）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十八）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（十九）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十一）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十二）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十三）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十四）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十五）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十六）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十七）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十八）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（二十九）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十一）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十二）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十三）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十四）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十五）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十六）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十七）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十八）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（三十九）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（四十）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（四十一）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（四十二）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（四十三）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（四十四）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち  
でこの考え方があつた。

（四十五）生涯学習の実践  
生涯学習と生涯教育と  
いうことが世界的に提唱さ  
れていたのは、一九六五年ユ  
ネスコの会議で「ボーラーラン  
グ」によるが、一九七三年の  
OECDの会議で「カレン  
ト教育」の提案というかたち<br

